

自主防災組織をつくろう

組織づくりは、それぞれの地域の実情に合わせて作ることが大切です。
結成方法は、大きく分けて次の2つがあります。


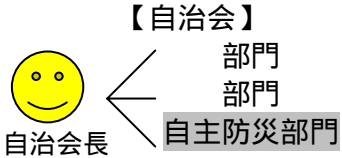
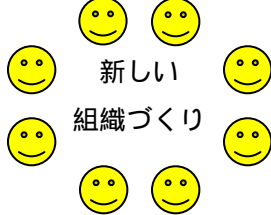
- 町内会や自治会など、現在ある組織を中心に結成する方法
- 防災活動のための新しい組織を結成する方法

ここでは、結成例が多く見られる について、組織のつくり方を説明します。

自治会など、現在ある組織を中心に自主防災組織をつくる方法として、次の3つの方法があげられます。

- 自治会役員が自主防災組織の役員を兼務
- 自治会に新たな自主防災部門をつくる
- 自治会とは別の組織をつくる

組織づくりの例

	自治会役員が 自主防災組織の役員を兼務	自治会に新たな 自主防災部門をつくる	自治会とは 別の組織をつくる
3つの例	自治会役員が自主防災組織の役員を兼務する  自治会長 副会長 自治会役員 = 組織役員	自治会長が自主防災組織会長を兼務し、自治会に新たな自主防災部門をつくる  【自治会】 部門 部門 自主防災部門 自治会長	自治会が中心となるが、組織は新しく作り直す  新しい 組織づくり
長所	組織づくりが簡単。活動を継続しやすい。	役員全員の負担が軽い	役員全員の負担が軽い
	住民にとって組織の仕組みがわかりやすい。	会長以外の役員の負担が軽い 経験が蓄積され専門性が高まる。 活動の独自性を発揮しやすい。	
短所	自治会の役員交代によって活動方針や熱意が変わる。		住民の同意が取りづらく、組織づくりが難しい。

「自主防災組織」といっても難しく考える必要はありません。町内会や自治会など地域で防災について考え、防災について取り組むことが自主防災組織の活動です。

町内会や自治会、婦人会や青年団、消防団などそれぞれの役割で連携しながら災害から地域を守りましょう。

組織づくりから活動までの手順

1. まずは話し合いを

町内会や自治会の総会または役員会で自主防災組織の必要性を話し合う。

2. 市役所・消防署などに相談する

消防署や市役所から、組織結成の方法や防災計画の作り方などの説明を受ける。

3. 結成に同意を得る

総会などで組織結成の主旨や活動内容などを説明し、同意を得る。

自主防災組織の結成！

4. 住民に周知する

規約や活動計画書、名簿や連絡網などを作成し、住民に周知する。

5. 防災活動を開始

計画に基づいて防災活動を行う。

6. 防災訓練などを実施

資機材の共同保有や防災訓練等により防災組織の強化を図る。